

道母連だより



北海道知事
鈴木直道

新年、あけましておめでとうございませう。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、道内各地において、ひとり親家庭の方々の心の支えとなる支援活動を積極的に実施されるとともに、北海道母子福祉センターや母子家庭等就業・自立支援センターの運営、公共施設での清掃業務や保育事業の受託による就労の場の確保、民間企業と連携した奨学金の給付など、様々な場面でひとり親家庭の福祉の向

上や自立促進にご尽力いただいていることに深く敬意を表します。

昨年を振り返りますと、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたほか、札幌で開催された東京オリンピックのマラソン・競歩競技に先立ってアイヌ舞踊が披露され、本道が誇るアイヌ文化が世界に発信されるなど、本道が有する価値が国内外で大きな注目を集めた年となりました。

一方、新型コロナウイルスの感染症数が増減を繰り返す予断を許さない状況が続く中、道では、まず何よりも道民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先に、感染症へ

第96号

発行日/令和4(2022)年1月1日
発行/社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会
〒060-0031
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内
電話 (011) 261-0447
●題字は山高しげり先生 ●印刷 関アイワード

の対応に最善を尽くしてきました。皆様には、長期にわたり多大なるご理解とご協力をいただいていることに、改めて感謝申し上げます。道としては、今後とも、感染症の影響により経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭の皆様へ寄り添いながら、安定就労に結びつく資格取得のための就労支援や各種貸付金・給付金制度による経済的支援のほか、母子家庭等就業・自立支援センター等における就業支援、弁護士等による養育費などの相談支援、ひとり親家庭等生活支援事業による子どもの学習支援などの必要な支援を一層推進するとともに、ガイドブックなどを活用した丁寧な周知に努めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、希望にあふれる素晴らしい年となりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

年頭にあたって

理事長 畑 和子

明けましておめでとうございませう。みな様におかれましては健康やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大により、二年間、東北・北海道大会、全国大会と中止になりましたが、全道を4区域に分けた4ブロック研修会を開催、出席者が細心の注意を関係者の協力もあって無事終了することができました。

いつでも人に会えて「元氣かい」と言葉を交わすことが当たり前であった単位会や地区母連の交流が、コロナ下で規制されて初めてわかった人とのつながり、温もり、絆の大切さを知らされ、地区母連の組織の役割、活動の重要性を感じ、東北・北海道地区大会に発揮できることを願っています。

また、北の元気を載せた「道母連だより」も全国へのつながりの一環になってくれればと思います。

コロナが改善されて、全道の会員、大勢の職員が安心して過せる日が一日も早くきますことを祈る新年です。